

6. 高齢者の 生きがい対策の推進

基本方針

高齢者が、生涯学習・老人クラブの活動等に参加しやすい環境を作るとともに、そこで学習した成果を発展させる場所・機会の充実を図ります。

元気な高齢者が、ボランティア活動等に生きがいを持てるような環境を作ることで、高齢者の社会参加を促進します。



現状と課題

本市でも高齢化が進み、今後高齢人口比率は20%を超えることが予測されますが、高齢者の生きがいや生活様式の多様化により、元気で活動できる高齢者が増加しています。このようなシニア世代のエネルギーを社会貢献につなげることができるよう、これまでの経験や知識を生かした地域活動・文化活動の場となる様々な講座の提供や各地域における学習活動への支援が今後の課題となっています。また、学習成果を発表できる場となる幅の広いボランティア活動や地域活動への積極的な参加を促進することにより、高齢者自らが生きがいを実感でき、生活の充実・向上につながる仕組みづくりが課題となっています。

施策指標

| 指標名 | 実績値 | | | 目標値 |
|------------|--------|--------|--------|--------|
| | H16 | H17 | H18 | H24 |
| 教養講座参加者数 | 361人 | 354人 | 372人 | 430人 |
| 老人クラブ加入者数 | 5,266人 | 5,207人 | 4,963人 | 5,143人 |
| 高齢者大学校受講者数 | 193人 | 172人 | 230人 | 240人 |

今後の取組

1 教養教室・生涯学習の充実

千寿荘、やわらぎの郷において、各種教養講座を開設し、その成果を高齢者作品展に出品できるようにしています。

高齢者大学校（まほろば大学校）を開設し、高齢者の多様な学習の場として活用していますが、講座の開催場所を拡大するとともに、高齢者大学校で学んだことを地域社会で活かし還元する環境づくりを推進します。

各施設を発表会及び展示会等多様な学習の場として活用し、各地域における学習活動への支援を充実します。

- 生きがい対策支援事業
- 千寿荘における教養講座
- 高齢者大学校

2 老人クラブの活性化

地域の老人クラブにおいて、学習や趣味活動を行っていますが、クラブへの加入者数が減少傾向にあります。老人クラブが、生きがい・健康づくりの活動のほかに、ボランティアを中心とした活動を行い、地域福祉を積極的に担う団体の一つとして魅力ある組織となるよう支援していきます。

- 地域活動支援事業

3 敬老会の実施

毎年9月敬老の日を中心に75歳以上の高齢者を敬老会に招待し、県立体育館で式典・演芸会を開催しています。参加者が年々増加し、現在の会場では収容できないことが想定されるため、今後は自治会・地域福祉推進委員会・老人クラブ等の団体に働きかけ、各地域で開催できる体制を整え、地域の特徴を生かした敬老会行事の開催を推進していきます。

- 敬老会事業

4 高齢者と各世代との交流促進

やわらぎの郷では、世代を越えた触れ合いの場としての施設を提供していますが、利用者のほとんどを高齢者が占めており、世代間の交流が進んでいるとは言えません。今後は、様々な世代の利用を促す施策を展開し、高齢者にも、他の世代にも喜ばれる交流の場づくりを進めていきます。

- 世代間交流事業



敬老会事業



福祉センターやわらぎの郷

市民等との役割分担

高齢者は、自治委員・民生児童委員・地域福祉推進委員の協力を得ながら地域住民との交流の場を拡大し、役割分担を考えて、これまでの経験や知識を生かしながら地域活動に参加することで、各世代と活発に交流することが期待されます。